

# ホクコーバリダシン<sup>®</sup>粉剤DL

■種類名：バリダマイシン粉剤

■有効成分：バリダマイシン（バリダマイシンA）----- 0.30%

■登録番号：第15252号

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：1982.10.29

■性状：類白色粉末 45μm以下、  
浮遊性指数 20以下

■有効年限：4年

■包装：3kg×8袋

## 【特長】

- 紋枯病と疑似紋枯症に効果がある。
- 作物に対する浸透移行性はないが、紋枯病菌菌系によく吸収され、菌系を通じて薬剤が付着していない部分にまで効果が波及する。
- 発病後の散布でも降雨の影響を受けにくく、残効が長い。

## 【適用内容】(2023年10月末日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌) (褐色菌核病菌) (褐色紋枯病菌)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	5回以内	散布	6回以内 (育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)
いぐさ	紋枯病	3~4.5kg/10a	—	4回以内		4回以内
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重量の0.3%	植付前	1回	種いも粉衣	7回以内 (種いもへの処理は1回以内、植付後は6回以内)
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトリア菌)	20kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	株元散布	4回以内

## 【効果・薬害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性がよいので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 稲に使用する場合、次のことに注意すること。
  - ◆ 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないよう全体に均一に散布すること。
  - ◆ 紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- ばれいしょの種いも粉衣処理に使用する場合、次のことに注意すること。
  - ◆ 植付前に本剤の所定量を適当な容器の中で均一に粉衣すること。
  - ◆ 切断した種いもは切断面が乾いてから処理すること。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 散布の際は農業用マスクなどを着用すること。  
作業後はうがいをすること。
- ❖ 本剤で処理した種いもは食料や動物飼料として用いないこと。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。